

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00410)

事務事業名称	水辺環境の整備				款	05	項	03	目	03	事業	002	整理番号	404	
現担当課名	土木計画課		係名	施設整備グループ		連絡先電話番号	3425		昨年度整理番号	420					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成13年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	01							
令和 3年度担当課名	土木計画課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)の流域住民・一般利用者	根拠法令等	(1) 河川法 (2) 特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例第2条表78
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	河川を健全な状態に保つよう、河川管理施設の調査・補修等を適切に行い、区民が安心して暮らせる治水安全性を確保する。 自然環境に配慮した河川維持管理や、住民等との連携意識啓発を進め、潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図る。	活動指標	水鳥一斉調査(20年度からの累計)
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	老朽化した河川管理施設(護岸・河床・河川管理用通路等)の点検調査や補修工事を行う。 善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針に沿い、区民参加型の啓発イベントの実施、環境活動の支援などを行う。 都施行の河川事業に際して協議・調整を行い、自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。	指標名(1)	
		指標説明	善福寺川に関する普及啓発活動(20年度からの累計)
		成果指標	みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合
		指標名(1)	
		指標説明	区民意向調査による
		指標名(2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)	予算執行率(%)
活動指標(1)	1 回	12	13	13	14	14	15	100.0	76.4
活動指標(2)	2 回	12	13	13	14	14	15	100.0	
成果指標(1)	3 %	76.0	80	75.9	80	77.5	80	96.9	
成果指標(2)	4								
事業費	5 千円	30,629	3,851	3,586	3,658	2,796	1,934	特記事項	
(内)投資的経費等	6 千円	30,629	1,323	3,586	3,658	2,796	1,934	水鳥の一斉調査においては、委託による調査は実施したが、区民参加による協働としての調査は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としたことにより執行率が低下しています。	
(内)委託費	7 千円	30,190	3,333	3,097	3,141	2,481	985		
職員数	8 人	1.64	1.54	1.74	1.44	1.61	0.90		
上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	10 千円	12,778	13,426	14,795	12,244	13,432	7,509		
上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費(5+10+11)	12 千円	43,407	17,277	18,381	15,902	16,228	9,443		
単位当たりコスト(12÷1)	13 円	3,617,250	1,329,000	1,413,923	1,135,857	1,159,143	629,533		
財源	14 千円	0	0	0	0	0	0		
受益者負担分	15 千円	0	0	0	0	0	0		
国からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(14+15+16+17)	19 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(12-18)	20 千円	43,407	17,277	18,381	15,902	16,228	9,443		
受益者負担比率(14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 404

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	善福寺川護岸等調査委託	1	件	2,090
	水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	387
	水鳥一斉調査謝礼金の支出	11	人	143
	その他（保険料、事務費ほか）			176
事業実績	<p>令和2年度に陥没が見られた関根橋下流部の河川管理用通路において空洞調査を行い、日常の維持管理の中で補修を行いました。</p> <p>区が支援している善福寺川をテーマとする区民活動「善福寺川発見」の中で、区のこれまでの事業の取り組みなどのパネル展示を行い事業の周知を図りましたが、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業により区民とともに水辺環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>河川に対しては、治水対策への要望が多く寄せられている一方で、水とみどりの空間は区民に潤いや安らぎを与え、多様な動植物の生息、生育、繁殖環境を形成するものとして区民のニーズは変化しており積極的に水辺環境の創出に関わっていきたいとする区民意識も高まっています。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>区内河川は、法や都条例に基づき区が維持管理を担っています。平成17年に大規模な集中豪雨により、甚大な被害が発生したことを契機として、都の河川整備が本格化、治水安全性の確保とともに地域と協働による河川環境向上に努めた川づくりを基本理念とした神田川流域河川整備計画が策定され、善福寺川でも武蔵野橋付近に親水護岸が整備されました。区は、平成20年から善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業により区民とともに水辺環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>河川に対しては、治水対策への要望が多く寄せられている一方で、水とみどりの空間は区民に潤いや安らぎを与え、多様な動植物の生息、生育、繁殖環境を形成するものとして区民のニーズは変化しており積極的に水辺環境の創出に関わっていきたいとする区民意識も高まっています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>水辺は、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、まちの景観形成や余暇の有効活用において貴重な役割を果たしています。今後も水辺に対する区民の関心を高めるため、区民と行政との協働で取り組む啓発活動に取り組んでいきます。</p> <p>また、河川管理施設については、治水安全性や施設等の安全確保のため、必要な現状調査や補修を行うなど、適切な維持管理に取り組んでいきます。さらに、東京都と連携して河川維持管理計画策定を予定しています。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動指針に沿って、区民参加型のイベントの開催や環境活動団体等の支援など啓発活動を毎年実施しています。また、河川管理施設（護岸や管理通路等）の調査、補修を適宜行い、安全で快適な河川環境を確保しています。</p>
評価と課題	<p>水鳥一斉調査は、昨年度は新型コロナの影響もあり中止となりましたが、例年参加希望の小学生が増加しており、最近では抽選による参加者の選定となっています。参加をきっかけにして、子どもたちが水辺環境について関心を高め、一般区民の方々にも広めていくことが重要ですが、参加できなかった子どもたちにも水辺環境の魅力が伝わるように、区ホームページやSNSなどの広報媒体を活用するとともに、関連イベントなどで調査内容等に関して広く周知するなど、効果的で伝わる情報発信に取り組む必要があります。一斉調査については、増加する参加者に対応するため、解説員の一層の確保を図る必要があります。また、河川管理施設の適切な管理、都施行の河川事業に際して協議・調整を行い、自然環境や景観に配慮した整備を連携して進めていきます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>水辺環境の整備については、水鳥一斉調査などにより、水辺環境への関心を高め意識啓発を図るとともに、東京都をはじめとした関係機関との連携により、引き続き自然環境や景観に配慮した整備を連携して進めていきます。また、河川管理施設（護岸や通路等）の安全確保のため、必要な現状調査や補修を行うなど、適切な維持管理に取り組んでいきます。</p> <p>これを踏まえ、5年度は引き続き水鳥一斉調査などの啓発イベントの実施、およびシンポジウムを開催することで区民と共に考え協働して水辺環境の再生・創出に取り組むとともにこれらの取り組みを効果的に情報発信していきます。</p> <p>令和4年度に東京都が策定する「河川維持管理計画」の調整・協議を行い、令和5年度の公表に併せて区は河川の補修実施計画を作成する予定です。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00423)

事務事業名称	公園の維持管理	款	05	項	04	目	01	事業	001	整理番号	417
現担当課名	みどり公園課	係名	公園整備係				連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	433
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成						予算事業区分	既定事業			
事業開始											
令和 3年度担当課名	みどり公園課						事業評価区分	施設維持管理			

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公園 3 3 4 園 公園利用者	根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 杉並区立公園条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が安全で快適に利用できる公園にする。	活動指標	区立公園管理面積
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	区民要望件数
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の公園維持管理を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 (1)	1	m ²	649,661	658,116	657,491	666,610	667,194	667,567	100.1	97.8	
活動指標 (2)	2	件	1,045	880	1,393	900	1,177	900	130.8		
成果指標 (1)	3										
成果指標 (2)	4										
事業費	5	千円	1,113,860	1,244,104	1,184,428	1,222,045	1,194,584	1,269,062	特記事項		
(内) 投資的経費等	6	千円	32,533	31,791	24,686	27,949	23,150	36,941			
(内) 委託費	7	千円	1,019,660	1,145,320	1,100,209	1,123,311	1,103,503	1,172,496			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8	人	29.57	31.30	32.44	25.50	26.25	27.40		
	上記以外の職員	9	人	3.00	0.20	26.50	36.10	36.60	36.10		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10	千円	190,609	192,693	208,971	165,778	171,689	175,839		
	上記以外の職員	11	千円	9,240	616	96,142	130,971	134,505	132,668		
総事業費 (5+10+11)	12	千円	1,313,709	1,437,413	1,489,541	1,518,794	1,500,778	1,577,569			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13	円	1,972	2,136	2,228	2,236	2,215	2,308			
財源	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19	千円	1,313,709	1,437,413	1,489,541	1,518,794	1,500,778	1,577,569			
受益者負担比率 (14÷12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（ 2 ）

令和 3年度 事業実施状況（ D o ）

整理番号 417

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	園地清掃業務委託		304	園
	樹木、花壇、除草等管理委託	334	園	253,480
	大規模公園等の管理運営委託	12	園	240,584
	公園の補修	10	園	76,335
	その他（その他の園地維持管理費ほか）			382,646

事業実績

耐用年数を経過した園灯灯具の交換や老朽化した園灯の改修を行うとともに、公園施設（遊具等）の塗装を行うことで施設本体の腐食防止を図りました。
また、委託業者による夜間警備パトロールを実施したほか、公園利用者が安全で快適に利用していただけるよう定期的な清掃を行いました。

令和 3年度 評価と課題（ C h e c k ）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	老朽化が進む公園施設（遊具等）の更新を図ることで、多世代が安心して安全に利用いただいていることから、今後も引き続き、公園施設の適正な維持管理に努めていきます。

令和 5年度の方針（ A c t i o n ）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	公園の利用状況等を踏まえ、適切な公園施設等の維持管理を行っていきます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00425)

事務事業名称	遊び場の維持管理			款	05	項	04	目	01	事業	002	整理番号	418
現担当課名	みどり公園課		係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	434		
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和46年度												
令和 3年度担当課名	みどり公園課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立遊び場 (17箇所) 遊び場利用者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 先行取得用地の活用と管理について
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民が安全で快適に利用できる遊び場にする。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	遊び場管理面積 区民要望件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公園の先行取得用地や他の公共団体、地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備を行う。 施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理を行う。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度		
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)		
活動指標 (1)	1	m ²	46,061	52,027	42,028	39,609	39,591	40,652	100.0	92.5	
活動指標 (2)	2	件	66	50	74	50	37	50	74.0		
成果指標 (1)	3										
成果指標 (2)	4										
事業費	5	千円	58,131	82,935	72,832	57,311	52,996	56,879	特記事項		
(内) 投資的経費等	6	千円	7,006	22,700	20,902	802	13,803	0			
(内) 委託費	7	千円	56,564	80,790	71,153	55,293	51,348	55,207			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8	人	2.75	3.45	3.54	2.45	3.20	2.95		
	上記以外の職員	9	人	0.00	0.20	0.20	1.00	0.50	0.80		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10	千円	22,920	26,068	27,045	18,676	23,654	20,553		
	上記以外の職員	11	千円	0	616	726	3,628	1,838	2,940		
総事業費 (5+10+11)	12	千円	81,051	109,619	100,603	79,615	78,488	80,372			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13	円	1,608	1,671	1,896	1,990	1,634	1,977			
財源	受益者負担分	14	千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15	千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19	千円	81,051	109,619	100,603	79,615	78,488	80,372			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 418

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)	
	(仮称) 荻外荘公園 (遊び場108番) の清掃、除草、管理委託等		1	所	20,580
	他の遊び場の樹木管理、除草等		17	所	8,562
	その他 (他の遊び場の清掃業務、管理運営費、維持補修費ほか)			23,854	

事業実績

遊び場117番 (724.51㎡) を廃止しました。

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	
評価と課題	<p>市街化が進む区内においては、新たに公園用地として土地を取得することが難しい状況となっていることから、遊び場は区立公園が不足している地域の補完的役割を担っており、貴重なオープンスペースとして有効利用しています。</p> <p>今後も地域の補完的役割を担っている遊び場の有効利用を図るとともに、遊び場利用者が安全で快適に利用していただけるよう適切な維持管理に努めていきます。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	遊び場の利用状況等を踏まえ、適切な維持管理を行っていきます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00426)

事務事業名称	公園等の整備					款 05 項 04 目 01 事業 003	整理番号	419	
現担当課名	みどり公園課	係名	公園整備係			連絡先電話番号	3583	昨年度整理番号	435
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成					予算事業区分	投資事業		
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標 03	施策 08	計画事業 07	09	10	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)	
令和 3年度担当課名	みどり公園課					事業評価区分	一般		

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公園 公園利用者	根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができる。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できる。	活動指標 指標名 (1) 当該年度に新設、拡張整備した公園数 指標説明 指標名 (2) 当該年度に整備した公園面積
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公園の新設及び拡張整備を行う。 区民一人当たりの都・区立公園面積5㎡を目標に公園を整備する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 区民一人当たりの都区立公園面積 指標説明 公園・緑地等面積 ÷ 人口 指標名 (2) 区立公園の面積 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 園	1	5	5	2	2	1	100.0	98.8	
活動指標 (2)	2 ㎡	5,873	3,658	3,658	7,182	6,075	373	84.6		
成果指標 (1)	3 ㎡/人	2.10	2.15	2.12	2.17	2.22	2.22	102.3		
成果指標 (2)	4 ㎡	649,661	658,116	657,491	664,673	667,194	667,567	100.4		
事業費	5 千円	4,122,349	1,066,583	1,054,284	2,517,370	2,486,184	681,268	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	4,019,071	1,066,583	1,054,284	2,525,370	2,486,184	681,268			
(内) 委託費	7 千円	466,089	182,353	170,533	432,543	403,604	642,382			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	8.59	6.80	7.72	6.70	8.23	6.80		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	71,807	56,329	62,911	56,970	67,141	56,056		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	363	0	368	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	4,194,156	1,122,912	1,117,558	2,574,340	2,553,693	737,324			
単位当たりコスト (12 ÷ 1)	13 円	194,156,000	224,582,400	223,511,600	287,170,000	276,846,500	737,324,000			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	1,049,791	77,989	60,000	672,417	598,463	152,964		
	都からの補助金等	16 千円	5,771	109,032	101,396	555,496	383,509	76,482		
	その他の補助金等	17 千円	2,798	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	1,058,360	187,021	161,396	1,227,913	981,972	229,446		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	3,135,796	935,891	956,162	1,346,427	1,571,721	507,878			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 419

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	松庵梅林公園用地取得・整備工事	1	園	1,820,586
	（仮称）荻外荘公園追加用地取得	1	園	340,629
	阿佐谷けやき公園整備工事	1	園	191,100
	（仮称）荻外荘公園実施設計委託	1	園	31,372
	その他（馬橋公園基本・実施設計委託ほか）			102,497
事業実績	<p>松庵梅林公園、阿佐谷けやき公園の整備工事を行いました。</p> <p>また、馬橋公園については公園及び建築工事の実施設計を行ったほか、（仮称）杉並第八小学校跡地公園及び富士見丘北公園についてはワークショップ等で住民意見を聴取し、基本計画の策定を進めました。</p> <p>（仮称）荻外荘公園については、遺構調査を行うとともに実施設計を完了しました。また、令和2年度に（仮称）荻外荘公園の追加用地として都市計画変更した東側近接地の用地を取得しました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>防災意識の向上に伴い、オープンスペースの重要性が認識され、防災機能を備えた公園の整備が求められています。</p> <p>また、公園用地の取得に当たっては、多大な費用がかかることから、国や都の補助金を活用しています。</p> <p>平成28年度には、下高井戸おおぞら公園が一部整備されたことで、方南和泉地区についても地区公園が整備されました。これを受け、区内7地域全てに地区公園が整備されました。</p> <p>（仮称）荻外荘公園については、平成28年3月に建物を含めた敷地全体が国の史跡に指定されたことを受け、復原整備に対する区民の期待が高まっています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>敷地の細分化や市街化が進む区内においては、公園用地としてまとまったオープンスペースを確保することが難しい状況となってきています。周辺の公園整備状況を踏まえながら、区内の土地の動向には常に注視し、時期を逸することなく用地の取得を進めていきます。</p> <p>また、公園利用については、子どもから高齢者まで幅広く利用されていることから、多世代に安全・安心して利用していただけるような公園整備を進めていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>松庵梅林公園の用地を取得し、整備工事を行いました。</p> <p>阿佐谷けやき公園は隣接する阿佐谷地域区民センター等複合施設の屋上部も公園として開園するため、地上部・屋上部を一体的に整備しました。</p>
評価と課題	<p>松庵梅林公園は、生産緑地だった土地を取得し、既存の梅林を極力保全・活用しながら整備したほか、阿佐谷けやき公園は、立体都市公園制度を活用した阿佐谷地域区民センター等複合施設の屋上部と隣接する地上部を有する公園として整備しました。馬橋公園の拡張整備では、令和2年度に策定した基本計画をもとに公園や建物に関する設計を完了し、令和6年度の開園に向けて工事を進めていきます。（仮称）杉並第八小学校跡地公園の整備及び富士見丘北公園の整備では、住民主体のワークショップにより策定した基本計画をもとに、公園や建物に関する設計を行います。（仮称）荻外荘公園については、復原・整備に向けて、有識者の指導・助言のもと、文化庁と協議を行いながら実施設計を完了し、令和6年12月の開園に向けて工事を進めていきます。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>馬橋公園及び富士見丘北公園は整備工事に着手し、令和6年度の開園を予定しています。（仮称）杉並第八小学校跡地公園も整備工事に着手し、令和7年の開園を目指します。</p> <p>（仮称）荻外荘公園については、令和6年度の開園に向けて、復原整備工事に着手します。また、（仮称）荻外荘公園の追加用地については、荻窪三庭園の連携・回遊性を確保するための観光案内の機能を備えるとともに、周辺地域の魅力を更に高める観点から、荻窪駅周辺まちづくりとも連携した展示休憩施設棟の設計を行います。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00427)

事務事業名称	公園のリニューアル				款	05	項	04	目	01	事業	004	整理番号	420	
現担当課名	みどり公園課		係名	公園整備係		連絡先電話番号	3583		昨年度整理番号	436					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	投資事業					
事業開始	平成24年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	11	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)						
令和 3年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公園 公園利用者	根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園のリニューアルにより、多世代が利用できる安全で快適な公園利用を図る。	活動指標 指標名 (1) 全面・部分改修公園数 指標説明 指標名 (2) 公園施設を改修した公園数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	既設公園の全面、または部分改修を行い、魅力ある公園に再整備する。 老朽化した遊具などの施設を改修する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 「公園や広場」が良いと思っている人の割合 指標説明 区民意向調査による 指標名 (2) 指標説明

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 園	0	10	10	8	7	6	87.5	90.2	
活動指標 (2)	2 園	29	58	39	35	37	43	105.7		
成果指標 (1)	3 %	80.2	80	82.1	80	82.1	80	102.6		
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	79,703	288,538	259,323	248,556	224,238	248,436	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	79,703	288,538	259,323	248,556	219,729	243,436			
(内) 委託費	7 千円	79,108	281,878	226,613	248,456	219,630	243,336			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	3.78	3.40	3.81	3.20	3.26	3.05		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	32,110	28,375	30,240	26,491	25,845	24,600		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	111,813	316,913	289,563	275,047	250,083	273,036			
単位当たりコスト (12÷1)	13 円	0	31,691,300	28,956,300	34,380,875	35,726,143	45,506,000			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	12,000	16,499	0	16,499	16,499	15,150		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	5,512	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	12,000	16,499	0	16,499	22,011	15,150		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	99,813	300,414	289,563	258,548	228,072	257,886			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 420

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	多世代が利用できる公園づくり公園区改修工事	7	園	14,889
	公園施設長寿命化計画施設改修工事	23	園	59,092
	乳幼児利用のための公園施設改修工事	6	園	27,187
	阿佐谷にしはら公園球戯場改修工事	1	園	15,058
	その他（設計委託・消耗品購入ほか）			108,012
事業実績	<p>「杉並区多世代が利用できる公園基本方針」に基づき、三谷公園を中心とした7公園について改修工事を行うとともに令和4年度に改修工事を予定している大宮前公園を中心とした10公園のワークショップを開催しました。杉並区公園施設長寿命化計画に基づく施設改修では、23公園で公園遊具の改修工事を行うとともに、球戯場及び便所についての長寿命化計画を策定しました。乳幼児利用のための公園施設改修では遊具の設置及び改修を6公園で行い、球戯場の改修では老朽化した阿佐谷にしはら公園の球戯場改修工事を行いました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>現在300を越える区立公園のうち、約3分の1が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などの公園施設が老朽化してきています。また、公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。</p> <p>公園利用については、近年、公園利用者の対象が子どもからお年寄りまで幅広くなってきていることから、幅広い世代が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。</p> <p>球戯場については、騒音問題など利用面における課題もありますが、利用者からは施設の継続を希望する声が寄せられています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>「杉並区多世代が利用できる公園基本方針」に基づき、子どもからお年寄りまで幅広く公園を利用していただけるよう、改修工事を進めていきます。また、改修工事を行う際は、事前に地域の方々からの意見等を収集するためにワークショップを開催します。</p> <p>公園遊具及び球戯場・便所については、「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき、安全で快適に利用していただくため、改修工事を着実に進めていきます。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>多世代が利用できる公園づくりについては、ワークショップ等による区民等からの意見を参考に、三谷公園を中心とした7公園において改修工事を行うとともに、令和4年度に予定している大宮前公園を中心とした10公園のワークショップを開催し、いただいたご意見を参考に実施設計を行いました。</p> <p>また、公園施設長寿命化については、23公園（29施設）で公園遊具の改修工事を行いました。</p> <p>その他、既存公園の一部に乳幼児が利用できる遊具の設置及び改修を7公園で行うとともに、老朽化していた阿佐谷にしはら公園の球戯場改修工事を行いました。</p>
評価と課題	<p>多世代が利用できる公園づくりの改修工事においては、区民等の意見を参考にしながら、複数の公園を対象とした機能分担・補完を図ることができました。引き続き、改修工事に当たっては、事前にワークショップを開催するなど、区民等の意見を参考にしながら、子どもからお年寄りまで幅広い世代が利用できる遊具や施設の改修を進めていきます。</p> <p>公園施設の長寿命化については、老朽化した遊具等の更新を進めていますが、今後は遊具に加えて球戯場及び便所の改修も計画的に進め、安心して公園を利用していただくための改修を行います。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>平成30年度に策定した「杉並区多世代が利用できる公園基本方針」に基づき、区民等の意見を参考にしながら、子どもからお年寄りまで幅広い世代が利用できる遊具や施設の改修を進めていきます。</p> <p>また、園庭のない保育園が増加していることから、既存公園の一部に乳幼児が利用できる遊具等の施設を設置し、保育園児が安心して利用できる公園づくりを進めていきます。</p> <p>公園施設の老朽化については、平成29年度に策定した「杉並区公園施設長寿命化計画」に基づき、遊具等施設の改修を行うとともに、令和3年度に策定した球戯場・便所の長寿命化計画に基づき、球戯場・便所の改修も計画的に行っていきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00428)

事務事業名称	みどりを育てる				款	05	項	04	目	02	事業	001	整理番号	422	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの計画係		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	438					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	03	05						
令和 3年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	<p>带状のみどり空間を創出する活動主体、みどりに関心のある個人、屋敷林所有者、みどりの協定締結者、みどりのボランティアに関心のある人、農地の所有者、公園利用者、公園ボランティア団体</p>	<p>根拠法令等</p> <p>(1) 杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則</p> <p>(2) すぎなみ公園育て組実施要綱</p>
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	<p>地域緑化に関する普及啓発事業の推進を通して、区民等の緑化意識の醸成を図る。 公園等における地域住民ボランティア活動により、安心・安全の向上と快適で魅力あるみどり環境の創出を目指す。</p>	<p>活動指標</p> <p>指標名 (1) みどりの新聞の発行部数</p> <p>指標説明</p> <p>指標名 (2) みどりの講座・イベントの開催数</p>
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	<p>緑化に関する印刷物の発行やみどりのボランティアの育成、みどりに関する講座の開催等を行う。 公園ボランティア活動支援として、活動に必要な資器材や情報の提供と技術支援を行う。</p>	<p>成果指標</p> <p>指標名 (1) 緑被率 (平成29年度調査)</p> <p>指標説明</p> <p>指標名 (2) 30年度の実績値はみどりの実態調査における29年度実績値 (5年ごと)</p> <p>指標名 (2) 公園のボランティア組織率</p> <p>指標説明</p> <p>ボランティアが入る公園数 ÷ 全公園数 一公園に複数団体が存在しても1として扱う。</p>

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 部	35,000	35,000	35,000	34,600	34,600	34,000	100.0	87.4	
活動指標 (2)	2 回	3	4	3	4	5	5	125.0		
成果指標 (1)	3 %	21.77	25	21.77	25	21.77	22	87.1		
成果指標 (2)	4 %	32.20	100	31.51	100	31.74	100	31.7		
事業費	5 千円	15,777	18,653	16,341	17,654	15,425	42,103	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	856	5,060	4,241	1,822	755	26,724			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	6.90	6.65	7.09	6.30	6.93	6.35		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.30	0.00	0.30	0.20		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	55,934	53,755	56,691	51,053	54,435	50,273		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	1,088	0	1,103	735		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	71,711	72,408	74,120	68,707	70,963	93,111			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	2,049	2,069	2,118	1,986	2,051	2,739			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	71,711	72,408	74,120	68,707	70,963	93,111			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 422

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	花咲かせ隊公園花壇管理資材の給付	3	回	9,260
	みどりの新聞「みどりとひと」の発行	34,600	部	1,448
	緑化副読本(みどりとわたしたち)の発行	4,250	部	1,201
	公園育て組資材の給付	47	団体	914
	その他 (みどりのボランティア支援、みどりの講座の開催)			2,602
事業実績	<p>花咲かせ隊、公園育て組は公園管理の一部を、みどりのボランティア杉並は公園や市民緑地などの維持管理の一部を行い、その活動によって多くの人に良好なみどり環境を提供しました。</p> <p>みどりの新聞を年2回各17300部発行し、公園でのボランティア活動や街中で見かける植物の紹介などについて情報を発信しました。あわせて小学5年生向けに緑化副読本を4250部発行し、みどりの役割や学校で見られる樹木などを紹介し、みどりへの関心を高めることに寄与しました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>区内の緑の状況は、緑被率が昭和47年より急激な宅地化等によって平成9年まで減少を続けましたが、平成14年以降、増加しています。平成29年度のみどりの実態調査の結果では、21.77%とわずかに減少しましたが、引き続き緑化計画等により緑被率の増加を目指します。</p> <p>【緑被率推移】 24.02% (昭和47年度)、 21.56% (昭和52年度)、 20.84% (昭和57年度)、 19.90% (昭和62年度)、 18.97% (平成4年度)、 17.59% (平成9年度)、 20.91% (平成14年度)、 21.84% (平成19年度)、 22.17% (平成24年度)、 21.77% (平成29年度)</p> <p>また、公園等の面積は20.9ha (昭和50年) から66.7ha (令和4年) に増加しています。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>屋敷林や農地の減少に歯止めがかからない中で、公園や緑地の整備、公共施設の緑化のほか民有のみどりを守り育てていく取組が重要となります。ボランティアや行政による屋敷林、農地所有者への支援のほか、みどりの普及啓発を幅広く行い、区民共通の資産としてみどりの位置づけが区民の中で高まるような方向性での取組を継続していきます。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>みどりを守り育てるためには、屋敷林や農地など身近にあるみどりの効用や必要性を幅広く区民に周知し理解してもらう必要があります。みどりの新聞は年2回各17300部発行し町会の回覧版に載せることで広く周知しました。</p> <p>みどりのイベントや落ち葉感謝祭、炭焼き体験、みどりの講座などのイベントを通じ、みどりに関心を持つ区民を増やすことに寄与しました。</p>
評価と課題	<p>花咲かせ隊や公園育て組、みどりのボランティア杉並が取り組んでいる公園の清掃や花壇の維持管理などの活動は、きれいで利用しやすい公園等を維持するために欠かせない地域活動となっています。しかし、活動する区民の高齢化等で団体数の減少が懸念されており、新たにボランティア活動に参加する方々を育てていく取組が必要となります。</p> <p>一方、屋敷林・農地については、その減少が危惧されます。杉並区緑地保全方針や今後改定を予定しているみどりの基本計画において先進的な取組を行うことで、みどりの量的な底上げと質の向上を図ります。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	杉並区みどりの条例に基づき着実に緑被率の増加を目指します。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00429)

事務事業名称	みどりを創る				款	05	項	04	目	02	事業	002	整理番号	423	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの事業係		連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	439					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	03							
令和 3年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	緑化の助成 (個人、事業者) 緑化計画 (個人、事業者) 公共施設の樹木管理 (区立学校、区立施設) 寄付樹木 (個人、事業者)	根拠法令等 (1) 杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 (2) 杉並区接道部緑化助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	道路に接した部分を緑化したり、建物の屋上や壁をみどりで覆うことにより、安全でみどり豊かなまちなみ環境を創る。 緑化計画書で一定基準のみどりを設けてもらうことで、まち全体の緑地を確保する。	活動指標 指標名 (1) 接道部緑化助成延長 指標説明 指標名 (2) 緑化計画の受理件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	個人の建物の屋上・壁面に緑化をする時や、道路に接した部分に生けがきなどを作る時の費用の一部を助成する。 区内で開発・建築行為等を行う業者と区民に緑化計画書を提出 (接道部緑化、緑地の確保、高木中木低木の本数の確保) するよう義務付け指導する。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 接道部緑化助成率 指標説明 整備延長 ÷ 整備計画延長 (350m) 指標名 (2) 計画緑地面積達成率 指標説明 計画緑地面積 ÷ 基準緑地面積

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 m	290	350	134	350	146	350	41.7	97.8	
活動指標 (2)	2 件	1,893	1,800	1,958	1,800	1,804	1,800	100.2		
成果指標 (1)	3 %	83	100	38	100	42	100	42.0		
成果指標 (2)	4 %	116	100	109	100	122	100	122.0		
事業費	5 千円	103,718	114,440	107,025	113,551	111,094	122,209	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	99,553	106,070	105,007	108,792	108,482	112,194			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	6.60	6.20	6.50	5.20	5.35	4.70		
	上記以外の職員	9 人	0.90	0.90	1.10	1.50	2.00	1.50		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	51,842	45,612	48,439	38,464	40,407	33,801		
	上記以外の職員	11 千円	2,772	2,772	3,991	5,442	7,350	5,513		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	158,332	162,824	159,455	157,457	158,851	161,523			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	545,972	465,211	1,189,963	449,877	1,088,021	461,494			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	158,332	162,824	159,455	157,457	158,851	161,523			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 423

	内 容	規模	単位	事業費（千円）
主な取組	公共施設の樹木維持管理委託	213	か所	105,763
	接道部緑化助成	11	件	1,627
	寄附樹木の受領	68	本	1,468
	苗木の育成委託	6,800	本	1,163
	その他（緑化計画の指導・受理、みどりのリサイクルほか）			1,073
事業実績	<p>1,804件の緑化計画を受理しました。内訳は確認申請時の敷地面積200㎡以上が550件、200㎡未満が1,254件でした。</p> <p>受理した緑化計画による計画接道部緑化延長は 7,401.63m、計画緑地面積は 52,782.81㎡、計画樹木本数 86,663本でした。</p> <p>樹木剪定等の維持管理を213箇所の公共施設に行いました。</p>			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	<p>接道部緑化助成制度は、昭和53年度から緑化推進モデル地区内で始まり、昭和60年度に区内全域へ拡大しました。平成12年度には塀の撤去費も助成対象とする制度となりました。平成14年10月から屋上・壁面の緑化についても助成を開始しました。制度開始以来、助成金の増額や助成対象要件の緩和を行い緑化推進を図っていますが、ここ数年の助成実績は減少しています。2項道路の後退等助成条件が満たせず不満の声をいただくことがあります。</p> <p>緑化計画制度は、杉並区みどりの条例に基づいて昭和49年度に施行され、平成18年度の杉並区みどりの条例の改正に伴い現在の制度となりました。この制度は区内の新たな緑地の創出に大きな役割を果たしています。</p>
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	<p>建築確認申請に伴い緑化計画を提出することで緑化を義務づける現行制度は、費用対効果からも大きな成果を上げています。これからも緑化計画の提出と完了を確実に行うことでみどりの創出に寄与していきます。また、緑化助成制度を活用することで費用負担の軽減を図り、確実な緑化を遂行します。道路から見える緑化についてはまちなみをみどりに彩どる重要な要素であるため、生けがきや植樹帯だけでなく、見えるところに特化した助成の在り方について検討し、みどり豊かなまちなみを創ります。</p>
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	<p>敷地面積に関わらず、全ての建築行為等を対象とする緑化計画制度は、減少する既存のみどりに対し、新たなみどりの創出を義務付ける極めて重要かつ有効な制度です。指導により緑化基準を上回る計画がされています。</p> <p>緑化助成制度も同様にみどりの創出に有効な制度ですが、令和3年度は屋上・壁面緑化助成は2件、接道部緑化助成は146m分、接道部緑化助成率は42%と実績が伸びませんでした。コロナ禍で緑化計画の件数が少なかったことも一因と考えられます。</p>
評価と課題	<p>建築行為等を行う際に建物の用途や用途地域に応じて、きめ細かな指導を行う現在の緑化計画制度は、民有地の緑化を推進し、緑被率の維持・増加に一定の効果があるといえます。接道部の緑化をはじめとする助成制度も同様に寄与しています。一方で敷地の細分化が進み利用できる空間が少ないため、緑地を確保することが困難となっています。みどりが豊かに感じるようなまちなみにするには、道路から目に見える緑が重要であり、今後道路部分の緑化に特化した有効な制度をどう構築していくかに課題があります。</p>

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
予算の方向性の理由・内容	<p>現行の緑化計画制度は有効に機能していますが、今後も適切な緑化指導を行い緑地の確保に努めます。極矮小敷地や近隣商業地域、鉄道高架下などの一部緑化困難事例について検討をします。</p> <p>緑化助成については、緑化計画のパンフレット等による制度の周知等や使いやすい助成制度の在り方について検討し、緑地の確保等実績の向上を図ります。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00430)

事務事業名称	みどりを守る				款	05	項	04	目	02	事業	003	整理番号	424
現担当課名	みどり公園課			係名	みどりの事業係			連絡先電話番号	3595		昨年度整理番号	440		
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和48年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	02						
令和 3年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	保護樹木等の補助：個人、事業者 農業従事者	根拠法令等 (1) (2)	杉並区みどりの条例、杉並区みどりの条例施行規則 生産緑地法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	大きな樹木や樹林を所有者の同意のもと指定し保護していく。特に未来に残したい巨木や珍木については貴重木として指定し手厚く保全する。 生産緑地地区の指定により良好な都市環境の維持・形成に資する農地を保全する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	貴重木指定本数 保護樹木指定本数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	一定基準以上の樹木、樹林、生けがきについて、所有者の申し出により保護指定を行い、倒木事故等に対応する損害保険の加入、所有者の維持管理費の負担軽減のための補助金交付を行い、みどりの保護に努める。 生産緑地の指定により30年間は原則生産緑地を解除 (買取り申出) することができない。	指標説明 成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	貴重木保全率 貴重木指定本数 ÷ 貴重木保全計画本数 保護樹木継続率 今年度樹木数 ÷ 前年度樹木本数

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 本	77	100	74	100	74	100	74.0	93.0	
活動指標 (2)	2 本	1,463	1,750	1,442	1,750	1,371	1,600	78.3		
成果指標 (1)	3 %	77	100	74	100	74	100	74.0		
成果指標 (2)	4 %	98	100	99	100	95	100	95.0		
事業費	5 千円	41,953	48,205	39,382	42,163	39,230	45,109	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	14,943	16,286	13,383	15,748	13,925	16,151			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	5.71	5.35	5.86	5.05	5.33	5.05		
	上記以外の職員	9 人	0.10	0.10	0.30	0.50	0.40	0.50		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	46,995	42,421	45,693	40,064	41,458	39,427		
	上記以外の職員	11 千円	308	308	1,088	1,814	1,470	1,838		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	89,256	90,934	86,163	84,041	82,158	86,374			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	1,159,169	909,340	1,164,365	840,410	1,110,243	863,740			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	89,256	90,934	86,163	84,041	82,158	86,374			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 424

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助	640	件	23,378
	区営苗圃の維持管理	3,816	m ²	6,821
	市民緑地の維持管理	3	所	3,702
	生き物生息場所の保全	3	所	597
	その他 (生産緑地地区標識撤去・設置ほか)			4,732
事業実績	<p>令和3年度末現在、保護樹木は 1,371本、貴重木 74本、保護樹林 332,894.63m²、保護生けがき 5,842.70m²となっています。保護樹木、保護樹林とも樹木の枯損や土地の売却などで本数及び面積が減少しています。</p> <p>生産緑地は新規指定 1箇所360m²、追加指定 3箇所610m²、削除 (地区の全部) 2箇所3,440m²、(地区の一部) 1箇所20m²、結果計124箇所約31.33haとなりました。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>区内に残されたみどりを保全するために、規則で定める基準の樹木等を所有者の同意を得て保護樹木等として指定しています。これは杉並区みどりの条例が施行された当初から柱となる制度で、保護指定することで貴重なみどりを将来にわたり保全するための制度です。しかし、近年は宅地化による周囲の状況の変化等もあり、大きな樹木を維持管理することが難しくなっており、保護指定された樹木等の減少傾向が続いています。</p> <p>生産緑地はその約 8 割が平成 4 年に告示されたもので、令和 4 年に指定から30年が経過し申出基準日を迎えます。指定期間を10年延期する特定生産緑地制度への円滑な移行が課題でしたが、9割を超える農地を指定することができました。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>相続等による敷地の細分化や高齢化による維持管理の負担等により大きな樹木やまとまった緑の減少は今後も続くと思われる。一方、建築確認申請に伴い計画された新たなみどりによってみどりの更新が図られます。ただ、樹木の伐採によるみどりの減少が緑化計画で植えられる新たなみどりの増加を上回っているため、緑被率の減少傾向が続きます。</p> <p>平成 4 年告示分以外の残り約 2 割の生産緑地についても、令和 5 年以降順次申出基準日を迎えます。平成 4 年告示分と同程度の特定生産緑地指定意向があるかどうかは不透明な状況です。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>日照問題や隣地等への落ち葉など、大きな樹木を取り巻く環境は厳しくなっています。貴重木も含め、解除樹木数に対し新規指定する本数が少なく、実績は伸びていません。一方、維持管理費の支援や賠償責任保険の加入などが所有者の負担を軽減し、看板による周知と合わせ減少を抑制する効果があります。</p> <p>平成 4 年告示分の生産緑地について、9 割超を特定生産緑地に指定しました。</p>
評価と課題	<p>保護樹木等指定制度の支援制度や賠償責任保険の加入などの所有者に寄り添う制度は、みどりの減少を抑えるなど一定の効果が認められます。しかし、保護樹木の剪定費用などは高額であるため、剪定を保留したために樹木が大きくなり近隣に迷惑をかけるなど支援の在り方については検討が必要です。</p> <p>全生産緑地の約 8 割にあたる平成 4 年告示分の生産緑地について、9 割を超える農地を特定生産緑地に指定しました。残り 2 割の生産緑地についても、円滑な特定生産緑地制度の適用が課題です。また、指定から効力発生までの期間に相続等のやむを得ない事情により指定解除の希望があった際は慎重かつ丁寧に対応する必要があります。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>保護指定制度は、適宜指定状況の確認を行い、適正な制度運用を図っていきます。また、みどりの保全に寄与する制度も活用し効率的かつ効果的にみどりの保全に努めてまいります。</p> <p>生産緑地については、特定生産緑地移行のための事務手続きを継続して行っています。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00431)

事務事業名称	みどりの基金				款	05	項	04	目	02	事業	004	整理番号	425	
現担当課名	みどり公園課		係名	みどりの計画係		連絡先電話番号	3593		昨年度整理番号	441					
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成14年度	実行計画事業	目標	03	施策	08	計画事業	04							
令和 3年度担当課名	みどり公園課								事業評価区分	一般					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	基金に寄附を寄せる個人、団体、事業者	根拠法令等	(1) 杉並区みどりの基金条例 (2) 杉並区みどりの基金運営要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	当面、積立額5億円を目標とする。	活動指標	基金寄附件数
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	区内のみどりの保全に関する事業の財源に充てるため、区民、事業者及び区が協働して寄附を募る。荻外荘の復原・整備 (仮称) 荻外荘公園の整備)に関する事業の財源に充てるため、この事業に賛同する区内外の個人・法人から寄附を募る。	指標名 (1)	継続寄附団体等数
		指標説明	過去5年以内に2回以上の寄附があり、該当年度に寄附のあった団体数
成果指標		指標名 (1)	年間寄附等総額
		指標説明	継続寄附団体等による寄附等総額
		指標名 (2)	過去5年以内に2回以上の寄附があり、該当年度に寄附のあった団体の寄附総額

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 件	100	150	127	150	174	150	116.0	98.8	
活動指標 (2)	2 団体	11	10	3	10	5	10	50.0		
成果指標 (1)	3 千円	18,233	5,000	5,875	10,000	17,035	10,000	170.4		
成果指標 (2)	4 千円	185	500	39	500	66	500	13.2		
事業費	5 千円	18,310	6,107	6,016	18,267	18,044	7,243	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	30	42	13	42	14	42			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.28	0.25		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	2,180	2,180	2,126	2,126	2,336	2,086		
	上記以外の職員	11 千円	0	0	0	0	0	0		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	20,490	8,287	8,142	20,393	20,380	9,329			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	204,900	55,247	64,110	135,953	117,126	62,193			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	20,490	8,287	8,142	20,393	20,380	9,329			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 425

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	みどりの基金積立	174	件	17,035
	みどりの基金の利子積立			25
	その他 (普及啓発用品購入ほか)			984
事業実績	<p>寄附件数174件の内訳は、みどりの保全・創出が62件、荻外荘の復原・整備が112件でした。個人、団体・法人の別では、みどりの保全・創出は、62件のうち34件が団体・法人、荻外荘の復原・整備は112件のうち6件が団体・法人でした。荻外荘は国指定史跡で、区内外から寄附を募っているところですが、区外からの寄附は112件中36件でした。</p>			

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	<p>みどりの保全・創出を目的に平成14年度からみどりの基金は始まりました。件数・寄附総額ともに低迷していましたが、平成27年度、用途に「区を代表する公園等の整備」を加え「荻外荘の復原・整備 (仮称) 荻外荘公園整備」を掲げたこと、平成29年度からは「ふるさとチョイス」を通じたふるさと納税制度の活用を始めたことから、平成27年度以前の最高5,906千円から令和元年度には18,233千円に寄附総額を増やすことができました。荻外荘関連イベントでのアンケートによると、回答者の5割近くが寄附制度を知らなかったとの回答があり、寄附制度を知っていればもっと早く寄附をした、との声も聞かれます。</p>
事業の今後 (3~5年) の予測と方向性	<p>荻外荘の復原・整備については、建物の復原工事や調度品の復原製作などに相当な費用が必要となります。工着手予定の令和4年度が迫る中、より多くの寄附金を収集することが急務です。また、荻外荘が国指定史跡であることを踏まえると、区民にとどまらず、日本全国よりこの取組に賛同し長く愛着を持ってもらえる場となるような工夫が必要です。史跡公園公開後の寄附金の活用についても検討する必要があります。</p>
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	<p>年間寄附等総額目標の10,000千円、基金寄附件数150件は達成しましたが、その他目標は達成することができませんでした。今後はその他目標を達成することで多くの方が継続的に寄附することを拡充します。</p>
評価と課題	<p>みどりの保全・創出に係るものについては、現在、保護樹木等の損害賠償保険に充当しており、今後もみどりの恵み豊かな都市環境の形成につなげます。</p> <p>国指定史跡である荻外荘の復原・整備は、区内外から広く賛同・寄附を得ながら進めていくものですが、寄附件数・総額が伸び悩んでいます。令和4年度から復原・整備工事がいよいよ着手予定であることから、寄附件数・総額の拡大が喫緊の課題です。</p>

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>みどりの基金は、寄附をしていただくという一方通行ではなく、その用途を寄附者に報告することにより相互の関係を築き、継続した支援者となってもらうことが重要です。</p> <p>荻外荘の復原・整備については、史跡公園としての整備費を令和2年9月時点で約11億5千万円と見込んでいたのに対して、現時点での寄附総額は約2,300万円にとどまっています。また、「ふるさとチョイス」を通じたふるさと納税制度を活用している状況を踏まえると、区外からの寄附は特に不十分な状況です。令和4年度から復原・整備工事がいよいよ着手予定であることから、全国展開している雑誌への記事掲載等による事業及び寄附金募集の情報発信を積極的に図っていきます。</p>	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00432)

事務事業名称	公衆便所の維持管理			款	05	項	04	目	03	事業	001	整理番号	426
現担当課名	みどり公園課		係名	管理係			連絡先電話番号	3573		昨年度整理番号	442		
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和28年度												
令和 3年度担当課名	みどり公園課						事業評価区分	施設維持管理					

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	区立公衆便所16所	根拠法令等	(1) 杉並区公衆便所条例 (2) 地方自治法第2条第31項、281条第21項
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公衆便所を適切に維持管理し、安全で快適な利用と周辺地域の環境衛生保持を行う。	活動指標	公衆便所数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	定期清掃回数 (年間延べ回数)
		指標説明	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公衆便所の定期的な清掃、管理及び機能を保持するための維持補修を行う。	成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 所	16	16	16	16	16	16	100.0	96.3	
活動指標 (2)	2 回	5,672	5,676	5,661	5,676	5,629	5,370	99.2		
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	28,182	24,911	23,232	25,312	24,382	25,587	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	6,141	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	24,318	20,431	19,355	21,132	20,563	21,456			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	1.05	1.25	1.10	1.00	1.55	0.90		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.10	0.10	0.50	0.40	0.50		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	8,521	9,420	8,635	7,784	11,409	6,663		
	上記以外の職員	11 千円	0	308	363	1,814	1,470	1,838		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	36,703	34,639	32,230	34,910	37,261	34,088			
単位当たりコスト ((12-6)÷1)	13 円	1,910,125	2,164,938	2,014,375	2,181,875	2,328,813	2,130,500			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	3,426	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	3,426	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 (12-18)	19 千円	33,277	34,639	32,230	34,910	37,261	34,088			
受益者負担比率 (14÷12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (2)

令和 3年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 426

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)	
	地域別ブロック方式清掃業務委託		15	所	19,568
	公衆便所の光熱水費の支出		16	所	3,046
	その他 (公衆便所の樹木管理等)			1,768	
事業実績	区内 1 6 箇所に設置している公衆便所維持管理のため、日常清掃、設備の改修・修繕等を実施しました。				

令和 3年度 評価と課題 (C h e c k)

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見 (期待・要望・苦情など)	
事業の今後 (3 ~ 5 年) の予測と方向性	
計画 (目標値) に対する実績 (指標の分析等)	
評価と課題	施設が経年劣化していく中で清潔で利用しやすい公衆便所を提供するには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があり、また、バリアフリー化も課題となっています。今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘察した上で、計画的に改修を行います。また、日常の維持管理面では、利用者の利便性・快適性の向上を図るため、特別清掃の実施やすべての個室にトイレトペーパーを設置するなど利用者へのサービスの充実を図っています。

令和 5年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後も、公衆便所の定期的な清掃・管理及び機能を保持するための維持補修を行っていきます。	

令和 4年度杉並区事務事業評価表 (1)

(00433)

事務事業名称	公園緑地事務所等の管理運営			款	05	項	04	目	04	事業	001	整理番号	427
現担当課名	みどり公園課		係名	管理係		連絡先電話番号	3572		昨年度整理番号	443			
上位施策No・施策名	08 水とみどりのネットワークの形成							予算事業区分	既定事業				
事業開始	昭和47年度												
令和 3年度担当課名	みどり公園課							事業評価区分	施設維持管理				

令和 3年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	公園緑地事務所 (2 所)、公園管理事務所 (1 2 所)	根拠法令等	(1) 都市公園法、杉並区立公園条例、同条例施行規則 (2) 杉並区公園緑地事務所処務規程
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	公園緑地事務所及び公園管理事務所の管理運営を行い、公園維持管理ほか事業の事業執行を円滑にする。	活動指標	対象事務所数
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	対象管理面積 (延床面積)
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	公園緑地事務所及び公園管理事務所の施設・設備維持、事業所における業務運営を補佐する。	指標説明	
		成果指標	
		指標名 (1)	
		指標説明	
		指標名 (2)	
		指標説明	

指標、総事業費・コスト把握 (P l a n ・ D o)

区分	単位	令和元年度	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度	令和 3年度	令和 3年度	
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)	
活動指標 (1)	1 園	13	13	13	13	14	14	107.7	93.7	
活動指標 (2)	2 m ²	7,898	7,898	7,898	7,898	12,874	12,874	163.0		
成果指標 (1)	3									
成果指標 (2)	4									
事業費	5 千円	44,338	47,098	43,287	48,123	45,096	65,634	特記事項		
(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0			
(内) 委託費	7 千円	25,910	27,642	26,720	28,763	27,512	46,492			
職員数	常勤職員数 (再任用含)	8 人	4.35	4.40	5.35	4.30	4.51	4.30		
	上記以外の職員	9 人	0.00	0.50	0.40	1.40	0.70	1.40		
人件費	常勤職員分 (再任用含)	10 千円	26,107	26,966	34,347	30,452	29,848	28,096		
	上記以外の職員	11 千円	0	1,540	1,451	5,079	2,573	5,145		
総事業費 (5+10+11)	12 千円	70,445	75,604	79,085	83,654	77,517	98,875			
単位当たりコスト ((12-6) ÷ 1)	13 円	5,418,846	5,815,692	6,083,462	6,434,923	5,536,929	7,062,500			
財源	受益者負担分	14 千円	0	0	0	0	0	0		
	国からの補助金等	15 千円	0	0	0	0	0	0		
	都からの補助金等	16 千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
	特定財源計 (14+15+16+17)	18 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (12-18)	19 千円	70,445	75,604	79,085	83,654	77,517	98,875			
受益者負担比率 (14 ÷ 12)	20 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

令和 4年度杉並区事務事業評価表（2）

令和 3年度 事業実施状況（D o）

整理番号 427

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	公園緑地事務所等の光熱水費の支出	11	所	12,452
公園緑地事務所等の警備・設備保守等委託	12	所	15,783	
公園緑地事務所等の清掃	9	所	10,419	
公園緑地事務所等の通信運搬費	12	所	1,309	
その他（公園緑地事務所等の管理運営費（上記以外））			5,133	
事業実績	南・北公園緑地事務所（2所）及び公園管理事務所（12所）の維持管理を行いました。			

令和 3年度 評価と課題（C h e c k）

事業開始当初から現在までの環境の変化と事業に対する意見（期待・要望・苦情など）	
事業の今後（3～5年）の予測と方向性	
計画（目標値）に対する実績（指標の分析等）	
評価と課題	大規模公園等の運営・管理については、管理事務所が行っておりますが、大田黒公園、桃井原っぱ公園、井草森公園、下高井戸おおぞら公園、角川庭園、塚山公園、成田西ふれあい農業公園、阿佐谷けやき公園の8園は、民間事業者による運営・管理が行われています。施設の維持管理に関しては、老朽化により設備等の修繕が増加しており、今まで以上の安全管理と計画的な施設保全が必要となっています。

令和 5年度の方針（A c t i o n）

予算の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	現状維持
予算の方向性の理由・内容	今後も公園緑地事務所等の管理は適切に行っていきます。なお、今後の管理体制に関して、（仮称）荻外荘公園の開園に向け、荻窪に立地する三庭園【（仮称）荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園】について、効果的な管理運営方法を検討します。	